現代社会の見方や考え方

解答時間：20分

実施日 ／	点数

基本内容の確認

(1) 学校や会社、地域社会など、私たちが暮らしている集団を何というか。
(2) 私たちが生まれて最初に属する、最も身近な社会集団を何というか。
(3) 社会的なルールを身につけ、暮らしを支え合う社会集団を何というか。
(4) 人間はいくつかの社会集団に所属しなければ生きていくことができないため、どんな存在だといわれているか。
(5) 社会集団の中では、人間はそれぞれ考え方や求めるものが異なるため、ときに何が生じることがあるか。
(6) 考え方や求めるものが異なることで対立が生じた場合、みんなが受け入れられるような解決策を求め、何を目指す必要があるか。
(7) トラブルの解決策に合意を得るには、その解決策にみんなが何できないといけないか。
(8) 解決策で考慮すべき考え方の一つで、 少ない時間で多くのことを行うなど、無駄を省くという意味を持つ考え方を何というか。
(9) 解決策で考慮すべき考え方の一つで、特定の人が正当な理由もなく不利なあつかいを受けないようにする考え方を何というか。
(10) 現代社会を円滑に営むために、対立を防ぐために事前に何をつくっておく必要があるか。
(11) 決まりをつくるときに大切なもので、ある物事をしてよい、またはしないでよいという資格。特に法が認めて保護する特定の利益できる力を何というか。
(12) 権利を持つ人が負わなければならない二つのことがらを何というか。
(13) 二人以上の当事者の意思表示が合致することによって成立する法律行為のことで、権利や義務・責任が明記されたものを何というか。
(14) 採決の方法の一つで、一人でも反対の人がいれば決定できなくなる方法を何というか。
(15) 採決の方法の一つで、より多くの人が賛成する案を採用する方法を何というか。
(16) (15)の採決方法をとる場合、結論を出す前に何を尊重する必要があるか。
(17) 決まりを評価する観点のうち、決まりをつくる過程にみんなが参加しているかどうかという観点は、何の考え方に立ったものか。
(18) 決まりを評価する観点のうち、みんなのお金や物、労力などが無駄なく使われているかという観点は、何の考え方に立ったものか。
(19) 状況の変化に応じて、一度決定した決まりでも見直しを行い何する必要があるか。
(20) 社会集団の中で生きていくためには、話し合いをくり返しながらともに生きていこうとする社会を目指す必要がある。このような社会を何というか。

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)
(9)	(10)	(11)	(12)
(13)	(14)	(15)	(16)
(17)	(18)	(19)	(20)

配点：各 2 点×20

記述対策

(1) 社会集団で対立が起こる理由を、「個性」という語句を用いて簡単に答えなさい。
(2) みんなが納得できる解決策を考えるとき、効率を考える必要がある。この効率とはどのような考え方か。「お金」、「労力」、「無駄」という語を使って説明せよ。
(3) みんなが納得できる解決策を考えるとき、公正さを考える必要がある。この公正とはどのような考え方か。「正当な理由」、「不利」という語を使って説明せよ。
(4) 決まりをつくるとき、どのようなことを明白にする必要があるか。簡単に説明せよ。
(5) 採決の仕方で、全会一致の長所と短所を簡潔に答えよ。
(6) 多数決で採決をする場合配慮すべきことを、「結論」「尊重」の語句を用いて簡単に答えなさい。
(7) 共生社会とはどのような社会か。「社会集団」「話し合い」という語を使って説明せよ。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)

配点：各 5 点×7

資料問題

次の資料の（　）にあてはまる語句を、下の語群からそれぞれ選べ。

日本国憲法　第 24 条
①婚姻は（ A ）の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の（ B ）を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。
②配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び（ C ）に関するその他の事項に関しては、法律は、（ D ）の尊厳と（ A ）の本質的（ E ）に立脚して制定されなければならない。

【語群】　ア　家族　　イ　平等　　ウ　個人　　エ　地域　　オ　社会
　　カ　両性　　キ　権利　　ク　義務　　ケ　責任　　コ　効率

A	B	C
D	E	

配点：各 5 点×5

Examee
https://exam.fukuumedia.com